

エコアクション21

2024年度

環境経営レポート

(対象期間 46期 2024年5月～2025年4月)



DAIKO
DENKI

2025年8月8日
大光電機株式会社

目 次

1. 事業概要	. . . P1
2. 実施体制	. . . P2
3. 環境経営理念 基本方針	. . . P3
4. 環境経営目標	. . . P4
5. 環境経営計画	. . . P5
6. 環境経営目標の取組実績結果	. . . P6
7. 取組実績結果の経年変化	. . . P7
8. 環境活動の取組内容	. . . P8
9. 環境経営計画及び取組結果とその評価、次 年度の取組内容	. . . P9
10. 環境関連法規等の取りまとめ表、遵守の確 認	. . . P10
11. 代表者による全体の取りまとめ状況の評価 及び見直し結果	. . . P11

1. 事業概要

- ① 事業所及び代表者名
大光電機株式会社
代表取締役 大久保 知彦

- ② 所在地
〒435-0042
静岡県浜松市中央区篠ヶ瀬町672

- ③ 環境管理事務局
環境管理責任者 鈴木義人
環境管理事務局 川口広樹

環境関連連絡先 TEL 053-422-4500
FAX 053-422-3109

- ④ 事業内容
電設資材総合卸売業
電気工事業
管工事業

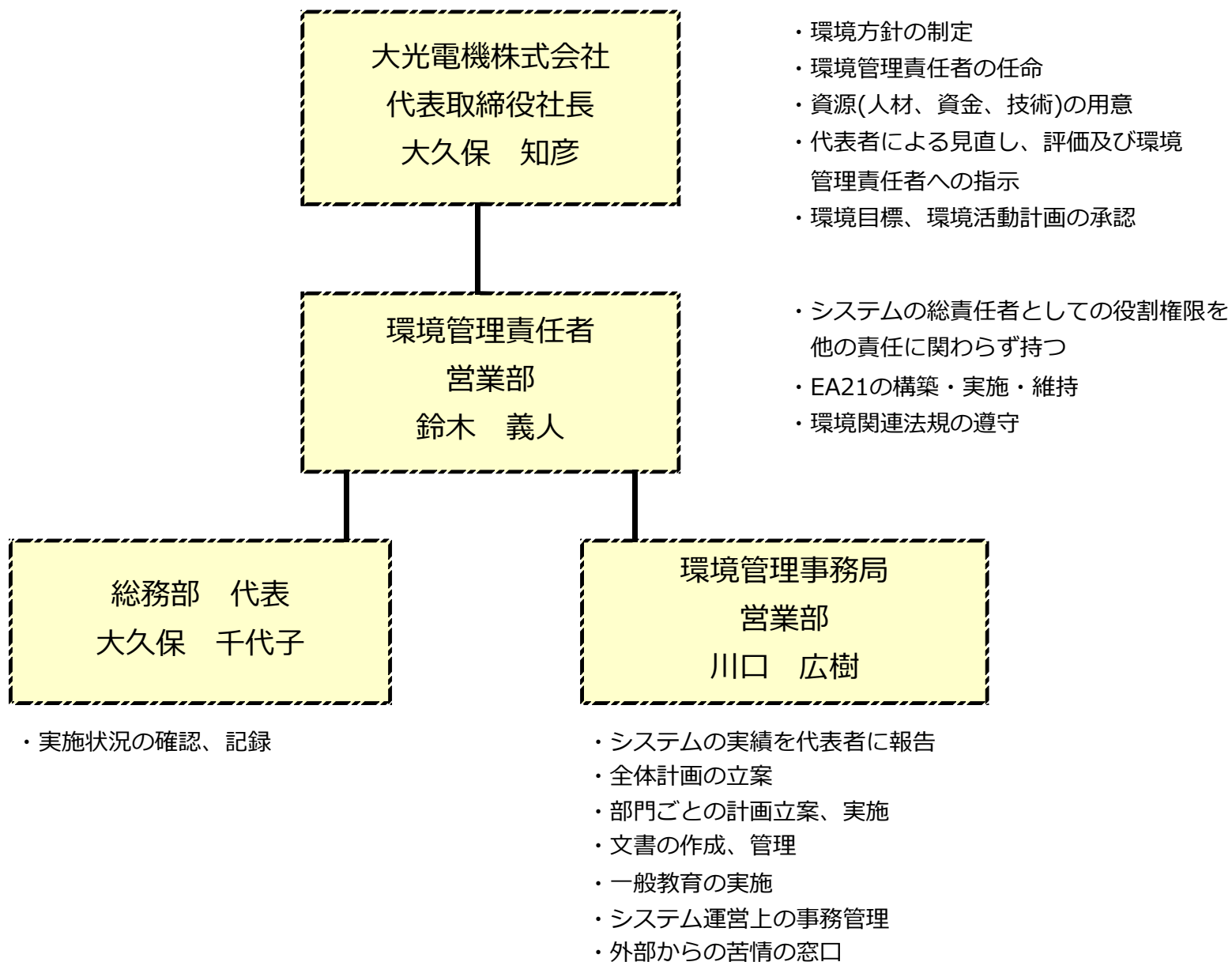
- ⑤ 事業規模

		41期	42期	43期	44期	45期	46期
	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
売上高	百万円	429	329	348	453	476	396
従業員	人	18	17	17	16	16	13
床面積	m ²	744.61	744.61	744.61	744.61	744.61	744.61

- ⑥ 資本金
1,000万円

- ⑦ 認証・登録範囲
本社におけるすべての組織とすべての活動を対象とします。

2. 実施体制



3. 環境経営理念 基本方針

環境経営理念

弊社は電設資材・制御機器・産業機器の販売とその施設工事、電設資材の加工業務を主体とした営業活動を行っております。業務を通して自然環境に配慮した製品の販売活動、現場での施工活動を意識し新規性の高い商材を発掘し、お客様のお役に立てる環境経営に取り組みます。

基本方針

私たちは下記の環境経営基本方針に基づき、環境活動を実行します。

- ・環境配慮型商品の提案・販売を行い環境負荷低減につながる営業活動を行います。
- ・人材の採用活動を継続しWebによるメーカー勉強会、会議等デジタル技術を活用し個人の技術力の向上に努めます。
- ・施設工事現場において、水・電気等のエネルギー使用の抑制に努め、二酸化炭素排出量、産業廃棄物の排出量削減等環境負荷の低減に努めます。
- ・環境関連法規を遵守します。その中において「フロンガス排出抑制法の適用」にある「第一種特定製品の使用者の簡易点検義務」を実施します。実施月は毎年、1月、4月、7月、10月に行います。
- ・3か月毎に実施記録の確認を行い、環境経営の継続的改善を推進します。

制 定：2008年11月13日

改 定：2025年 7月 9日

大光電機株式会社

代表取締役 大久保知彦

4. 環境経営目標

我が社は、事業活動により発生する環境負荷量の変動が大きいことから、環境経営目標の設定方法として前年度実績を基準値とする「スライド方式」を採用しています。

①短期的目標【46期 2024年度目標値】

項目	単位	45期基準 (2023年度)	46期目標 (2024年度)	
		基準値	目標削減率	目標値
CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	41,436	-1%	41,022
購入電力	kWh	26,700	-1%	26,433
ガソリン使用量	リットル	11,069	-1%	10,958
軽油使用量	リットル	2,161	-1%	2,139
水使用量	m ³	116	-1%	115
廃棄物排出量	トン	22.4	-1%	22.2
化学物質(回収70%)		適正保管		適正保管
グリーン購入	品目	1		1
LED照明販売台数	台	2,460		4,200
防災・減災・防犯・ 太陽光環境配慮型商 品の販売	品目	5		5

②長期的目標【47期 2025年度～49期基準 2027年度目標値】

項目	単位	46期基準 (2024年度)	47期基準 (2025年)	48期基準 (2026年度)	49期基準 (2027年度)
		基準値	目標削減率等		
CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	37,268	-1%	-2%	-3%
購入電力	kWh	26,430	-1%	-2%	-3%
ガソリン使用量	リットル	9,339	-1%	-2%	-3%
軽油使用量	リットル	2,146	-1%	-2%	-3%
水使用量	m ³	136	-1%	-2%	-3%
廃棄物排出量	トン	10.2	-1%	-2%	-3%
化学物質(回収70%)		適正保管	適正保管	適正保管	適正保管
グリーン購入	品目	1	1	1	1
LED照明販売台数	台	3,310	4,300	4,400	4,500
防災・減災・防犯・ 太陽光環境配慮型商 品の販売	品目	5	5	5	5

5. 環境経営計画

取 組 項 目		担 当 者	取 組 内 容
A－① 電気関 連	二酸化炭素排出量の削 減	大久保 知彦	・ 必要の無い照明を消す
			・ エアコンの温度設定
		大久保千代子	・ 電気機器の空運転停止
			・ 車両の定期点検
A－② 燃料関 連	二酸化炭素排出量の削 減	伊藤 雅彦	・ 車両部不要物荷卸
		佐藤 孝広	・ 急発進、急加速の禁止
			・ アイドリングストップ
		足立 高志	・ 効率的な運転ルート
B 廃棄物排出量の削減		全員	・ 廃棄物の分別
		大久保千代子	・ 使い捨て製品の使用禁止
			・ リサイクル、リユース推進
			・ 両面コピー
C 水使用量の削減		加藤 恵子	・ 水使用量の削減
			・ 水道管周りの点検(目視)
D グリーン購入の推進		手嶋 裕美	・ グリーン購入の推進
E リサイクルの推進		川口 広樹	・ 産業廃棄物の削減
F 化学物質の適正処理		山本 久敏	・ 化学物質の適正処理
G 環境配慮型商品の販売		全員	・ LED照明の販売（前年度より販売台 数を100台以上増加）
H 監視・省力化・防災・太陽 光発電		全員	・ 電力監視、受付管理、防雷対策、太 陽光発電設備を各1品目以上販売

6. 環境経営目標の取組実績結果

①取組結果(46期 2024年5月～2025年4月))

項目	単位	45期基準 (2023年度)	46期目標 (2024年度)				
		基準値	目標削減率	目標値	実績値	実績削減率	達成評価
CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	41,436	-1%	41,022	37,268	-9.2%	○
購入電力	kWh	26,700	-1%	26,433	26,430	0.0%	○
ガソリン使用量	リットル	11,069	-1%	10,958	9,339	-14.8%	○
軽油使用量	リットル	2,161	-1%	2,139	2,146	0.3%	×
水使用量	m ³	116	-1%	115	136	18.4%	×
廃棄物排出量	トン	22.4	-1%	22.2	10.2	-54.0%	○
化学物質(回収70%)		適正保管		適正保管	適正保管		○
グリーン購入	品目	1		1	1		○
LED照明販売台数	台	2,460		4,200	3,310		×
防災・減災・防犯・太陽光環境配慮型商品の販売	品目	5		5	5		○

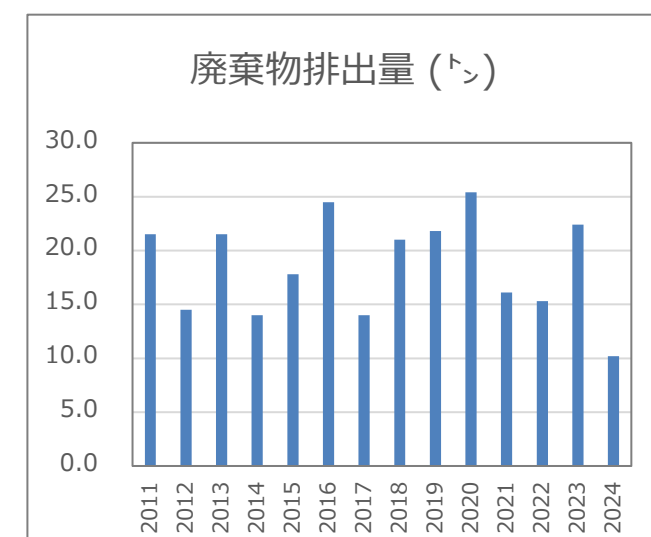
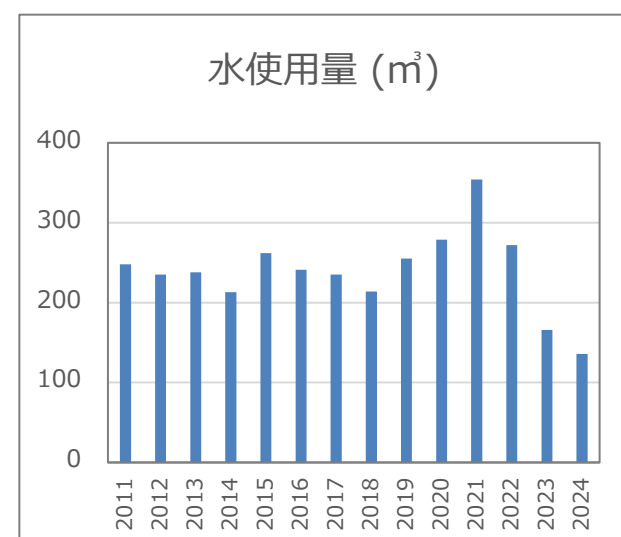
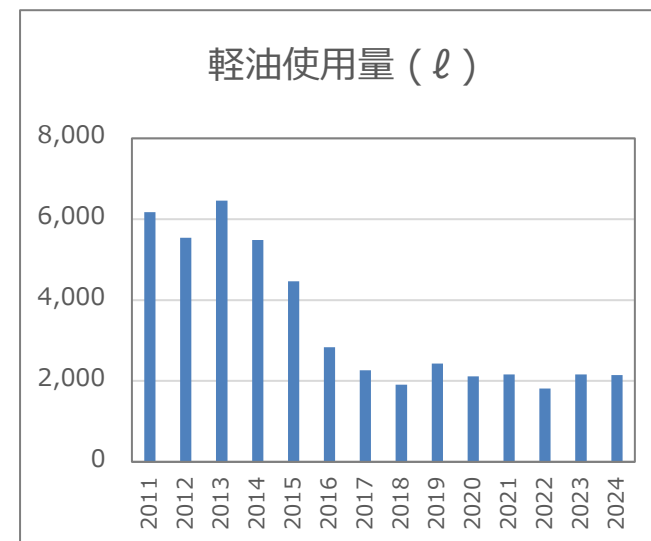
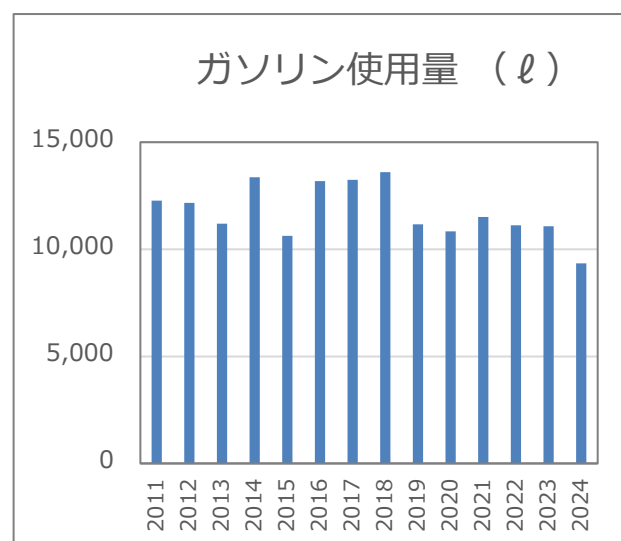
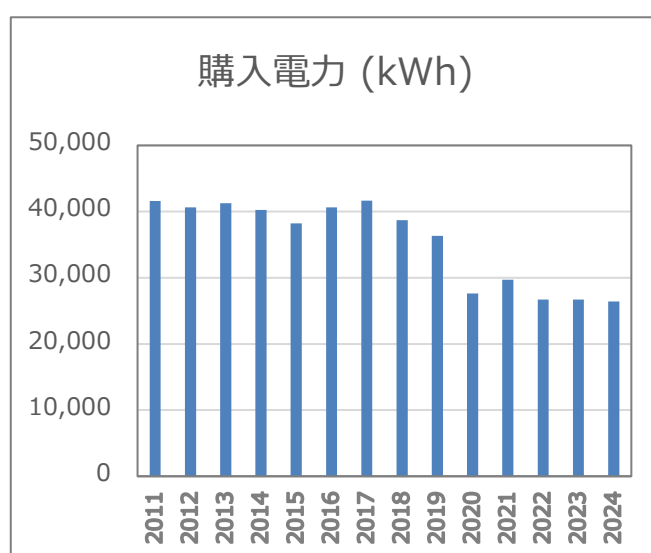
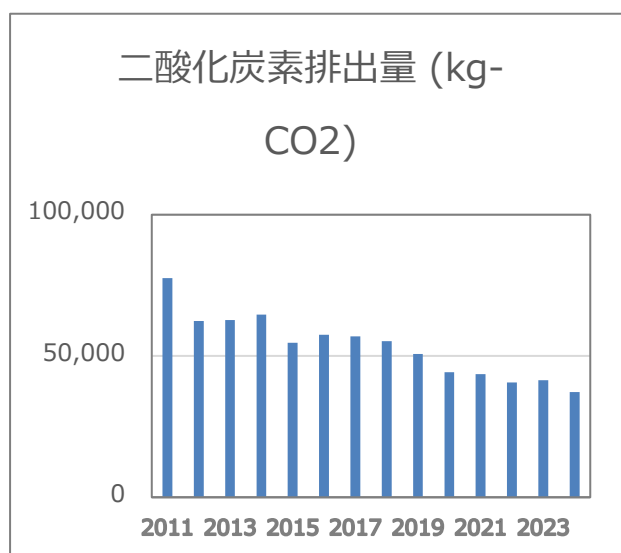
<備考>

1. 電気事業者別排出係数(特定排出者の温室効果ガス排出量算定用)は、R2年度実績－R4.1.1.7 環境省・経済産業省公表、R4.2.1.7 一部修正、R4.7.1.4 一部追加・更新の中部電力の調整後の排出係数であるメニューB(残差)の0.379を使用
2. ※印のCO₂排出量は都市ガスを含む。
3. 実績削減率＝(実績値－目標値)÷目標値×100
4. 達成評価 ○印：達成、△印：ほぼ達成、×印：未達成のCO₂排出量は都市ガスを含む。

②評価

項目	評 価
CO ₂ 排出量	廃棄物排出量、購入電力削減、燃料使用量削減で社内全体のCO ₂ 排出量を大幅に低減することができた。
購入電力	46期2024年度目標を大幅に達成することができた。昨年と比較すると使用量は1%の削減、電気料金は政府補助金適用で104,000円程下がったが、現状の使用量削減が課題である。
ガソリン使用量	46期2024年度目標を達成することができた。昨年と比較して使用量が1,730ℓ(15%)削減となった。工事物件の減少に伴い工事車両の使用頻度が減少したことも要因の一つ。社員全員の省エネ運転取り組み推進と、営業先・配送ルート効率化を図った成果も出た。
軽油使用量	46期2024年度目標は達成できなかったが昨年と比べて微減した。高所作業車を使用するような電気工事の仕事が増加すれば軽油の使用料も同様に増加する。今後も作業と移動の効率化を推進して削減したい。
水使用量	46期2024年度目標を達成できなかった。43期に漏水箇所を改修をしたことによって3年間減少した影響もあるが、増加してしまった。今期は社員全員で節水を推進したい。
廃棄物排出量	46期2024年度目標を大幅に達成できた。45期と比較して大型物件の工事が減少したことにより産業廃棄物の排出量も削減となった。また工事で撤去した設備をお客様で処分する現場が増加したため排出量が減少した。
化学物質(回収70%)	担当者が毎回適切に回収に取り組み、保管場所の管理を行い、回収ポンベをため込むことなく定期的に処理施設へ送った。回収ポンベの保管場所を40℃以下になる場所に変更した。
グリーン購入	社内のLED照明器具、社内使用の文房具等の購入で達成できた。
LED照明販売台数	46期2024年度は目標台数を達成できなかったが、昨年の実績2,460台と比較して850台(35%)増であった。蛍光灯販売終了が近づいているため、今後もこの取り組みを強力に推進していきたい。
防災・減災・防犯・太陽光環境配慮型商品の販売	防犯関連商品では人感センサーライトや監視カメラなどを販売できた。減災関連商品は非常用照明器具やバッテリー搭載型ソーラーライト(せみソーラー)の販売を増加させることができた。

7. 取組実績結果の経年変化



8. 環境活動の取組内容

①清掃活動

(1)町内清掃の広域清掃

地域活動の一環として2025年1月13日に会社前の側溝と周辺の側溝の清掃を行いました。



②防犯活動

(1)防犯カメラの設置

会社の防犯また近隣の犯罪抑制となるように、入口、倉庫、駐車場に防犯カメラを設置しました。



(2) 防犯ベルの検討

社内に不法侵入等で危険を感じた場合に防犯ベルとパトライトを点灯させ近隣に注意喚起を行う。
47期の導入を検討しています。

③防災活動

(1)防災訓練の実施

社内放送で地震発生のアナウンス後にヘルメットを着用して避難誘導しました。社員の点呼、不在者へは電話連絡を行い安否確認をしました。避難時集合場所で消火器訓練を実施しました。

(2)備蓄品リストのチェック

消費期限切れは無く、備蓄品の入れ替えがされていることを確認しました。

④ペーパーレスへの取組

(1)請求書発行のペーパーレス化

お客様の要望に沿って、メールで請求書を送付できるように検討中。

(2) 印刷物の省力化

印刷する際は両面印刷を推進する。裏紙を使用して管理できる書類は裏紙印刷を推進する。

9. 環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

評価者：鈴木 義人

取組項目		取組内容	評価	総評・特機事項等	次年度の取組
A-① 電気関連	二酸化炭素排出量の削減	・ 必要の無い照明を消す	◎	実施することができた	継続取組
		・ エアコンの温度設定	◎	実施することができた	継続取組
		・ 電気機器の空運転停止	◎	実施することができた	継続取組
		・ 車両の定期点検	◎	実施することができた	継続取組
A-② 燃料関連	二酸化炭素排出量の削減	・ 車両部不要物荷卸	◎	実施することができた	継続取組
		・ 急発進、急加速の禁止	◎	実施することができた	継続取組
		・ アイドリングストップ	◎	実施することができた	継続取組
		・ 効率的な運転ルート	◎	実施することができた	継続取組
B 廃棄物排出量の削減		・ 廃棄物の分別	◎	実施することができた	継続取組
		・ 使い捨て製品の使用禁止	◎	実施することができた	継続取組
		・ リサイクル、リユース推進	◎	実施することができた	継続取組
		・ 両面コピー	◎	実施することができた	継続取組
C 水使用量の削減		・ 水使用量の削減	◎	実施することができた	継続取組
		・ 水道管周りの点検(目視)	◎	実施することができた	継続取組
D グリーン購入の推進		・ グリーン購入の推進	◎	実施することができた	継続取組
E リサイクルの推進		・ 産業廃棄物の削減	◎	実施することができた	継続取組
F 化学物質の適正処理		・ 化学物質の適正処理	◎	実施することができた	継続取組
G 環境配慮型商品の販売		LED照明の販売（前年度より販売台数を100台以上増加）	△	△あまりできなかった	・ LED照明器具へ更新し、省エネ（電気代の削減）、省資源（長寿命によるランプ交換の削減）を進めていきます。 ・ 2027年末で全ての一般照明用蛍光ランプについて、製造と輸出入の禁止が決定したことも併せてLED照明器具への更新のご提案を更に進めていきます。
H 監視・省力化・防災・太陽光発電		電力監視、受付管理、防雷対策、太陽光発電設備を各1品目以上販売	◎	実施することができた	①電力監視システムをご提案 ・ 原単位管理をご提案し電力使用の状態を計測することはもちろん、節電に向けたポイントを可視化（見える化）することができます。 ②受付管理システムをご提案 ・ 来客管理やセキュリティの強化、受付業務の省力化をご推奨します。 ③防雷対策システムをご提案 ・ 設備を雷被害から防ぐことで業務環境を維持継続することをご提案します。 ④空調設備の更新または新規導入のご提案 ・ 空調機器の更新や換気空気清浄機の新規導入を推進します。 ⑤太陽光発電設備をご提案 ・ 太陽光発電設備と蓄電池の新規導入を推進し、防災時の生活環境も改善します。 ⑥耐震対策のご提案 ・ 生産設備を中心とした設備に、特殊技術を用いた（工具不要、穴あけ不要、騒音なし、発塵なし）アンカーレス耐震対策をご提案します。 ⑦会議室予約システムのご提案 ・ 会議室及び打合せスペースを予め予約し、打合せの重複を回避することで業務効率化をご提案します。

<備考>

1. 活動評価 ◎良くできた、○まあまあできた、△あまりできなかった

10. 環境関連法規等の取りまとめ表、遵守の確認

① 環境関連法規の遵守状況

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

評価日：2025年4月30日

2024年度

評価者：鈴木 義人

環境関連法規名称	条項	規制概要	規制詳細	規制の適用	遵法状況
廃棄物処理法	第1章3条	事業者の責務	廃棄物の適正処理、施策協力		○
	第12条3及び3-2	産業廃棄物処理	マニフェストの適正管理		
	第12条2-2	産業廃棄物保管	飛散、流出、地下浸透の防止 保管場所に掲示板設置 (60cm以上のもの)		
	第6条2-5	産業廃棄物委託基準	運搬、処分許可業者との委託契約 契約書に許可証の写しを添付 契約書を5年間保管(終了日より)		
	第12条3及び3-2	産業廃棄物管理標	管理票(マニフェスト)の交付 B2票を10日以内に受領 D票を90日、E票を180日以内に回収 管理票の写しを5年間保管		
家電リサイクル法	第9条 第18条	特定家庭用機器のリサイクル(テレビ等)	廃棄時、有料にて受取適切な業者に引渡し	テレビ、冷蔵庫 エアコン、洗濯機 排出時	○
自動車リサイクル法	第8条 第76条	自動車のリサイクル料金の支払い	引取業者への引渡し	廃車時	○
グリーン購入法	第50条	事業者の責務	環境に配慮した物品購入の推進	物品購入時	○
フロン排出抑制法	第27・30条 第31条 第16・19条	第一種フロン類充填回収 第一種特定製品管理者	充填回収業の登録及び登録変更の届出 充填量・回収量等の関する記録の保存、報告 点検の義務化(簡易点検)	常時	○
下水道法	第41条		使用開始の届出 水質の測定	常時	○
環境基本法	第11条2		一般的な自主努力	常時	○
電気工事士法	第12条	電気工事	電気工事に従事する際、電気設備技術基準に適合するように作業を行う	電気工事士免状の 携帯義務	○
電気工事業の業務の適正化に関する法律	第8条	電気工事を業とする事業者	適正な電気工事を行うよう指導監督する	電気工事業務時	○

② 違反、訴訟等の有無

関係機関からの指摘、利害関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟は過去3年間ありませんでした。

11. 代表者による全体の取りまとめ状況の評価及び見直し結果

1 ・ 見 直 し 関 連 情 報	項 目		確認	：（必要に応じて評価・コメント記載）
	1	エコアクション21文書	<input checked="" type="checkbox"/>	実施体制をレポートに記載しています。
2 ・ 代 表 者 に よ る 全 体 評 価 ・ 見 直 し 指 示	2	環境経営目標及び目標達成状況	<input checked="" type="checkbox"/>	軽油及び水使用量が目標達成できませんでした。
	3	環境経営計画及び取り組み実施状況	<input checked="" type="checkbox"/>	取り組みを実施することができました。
	4	環境関連法規要求一覧及び遵守状況	<input checked="" type="checkbox"/>	今後とも法律は遵守することを厳守いたします。
	5	外部コミュニケーション・対応記録	<input checked="" type="checkbox"/>	外部からの苦情はありませんでした。
	6	問題点の是正・予防措置の実施状況	<input checked="" type="checkbox"/>	問題点の是正・予防措置はありませんでした。
	7	取引先,業界,関係行政機関,他外部動向	<input checked="" type="checkbox"/>	特記事項はありません。
	8	その他（		
	2025年8月1日 環境管理責任者:鈴木義人			
2 ・ 代 表 者 に よ る 全 体 評 価 ・ 見 直 し 指 示	<p>今年で8回目の更新審査をいただくにあたり環境担当の鈴木と川口は積極的な活動を実施し、社内に周知徹底することで環境経営をリードすることが出来ました。電力、水等の削減目標を達成し、また、新たな目標も需要状況を鑑みた設定としことも評価が出来ると考えております。</p> <p>本年度は取引先を取り巻く環境が厳しい中で社員一同意見を出し合い、環境担当者が新たな商材を紹介するなど将来に向けて取組を進め始めました。環境経営を高めるきっかけになることが楽しみです。また、防災訓練の実施、消火器噴射試験も実施出来たことは昨今の防災事情を考えますと大変重要な取組が出来たと評価しております。全体的に仕事の内容（卸売り、工事、加工品）の増減によって産業廃棄物等の量が自然変動することが弊社の特徴のため、業績を上げながら環境目標を達成できるように取組む工夫と改善を今後も継続したいと考えております。環境担当の鈴木と川口も経験を重ね社内をリードしており、今後も活躍に期待し小職も含め環境チームとして業績向上に繋げていきたいと考えております。</p> <p>結びに、この度の更新審査をいただくに際し、弊社の改善のご指導、ご鞭撻を賜ります様よろしくお願い申し上げます。</p> <p style="text-align: right;">2025年8月1日 大光電機株式会社 代表取締役 大久保知彦</p>			
	見直し項目		変更の 必要性	「有」の場合の指示事項等
	1	環境経営方針	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
	2	環境経営目標	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
	3	環境経営計画	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
	4	実施体制	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
	5	その他のシステム要素	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
	6	その他（外部への対応）	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	